



懸かけはし橋

ぎかいだより



三沢地区消防団連合観閲式 玉落とし競技

写真提供：おいらせ町文化協会 百石写撮会 西舘 東城 氏

- ◆ 第2回定例会、第1回・第2回臨時会 2～6ページ
- ◆ 新しい委員会の構成 7ページ
- ◆ 一般質問（2名） 8～9ページ
- ◆ 議会運営委員会調査活動報告 10ページ

町一般職員及び特別参事の給与の臨時特例措置に関する条例を否決



議事を進行する佐々木議長

平成25年第2回定例会は、6月6日から11日までの6日間の会期で開かれ、人権擁護委員の候補者の推薦、下田第7分団消防ポンプ自動車購入契約、平成25年度一般会計及び特別会計の補正予算など、報告13件、諮問1件、議案8件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決・同意しました。

しかし、追加提案された議案2件は、否決しました。

また、請願1件は採択としました。

一般質問には、2人の議員が登壇し、町当局の考えを質しました。

反対討論



提案理由を説明する
成田町長

ラスパイルレス指数(※次頁)が12年度時点で100を上回っている県内33の自治体の中で削減しない自治体もあり、また6月議会に提案しない自治体も多く、今回の提案については、時期尚早と思われるため、撤回するよう求め

平成24年4月から平成26年3月までの国家公務員給与の減額支給措置に伴う地方公務員給与の減額支給の要請と地方交付税の削減により、町一般職員及び特別参事の給与を平成26年3月まで減額して支給することを定めた2つの条例の制定についての議案が提案されました。

しかし、審議・採決の結果、両議案も否決となりました。

賛成討論



反対討論をする
平野 敏彦 議員

て反対します。

今、国家公務員の方々が減額をし、現状で町の職員の給与を下げなければ、ラスパイルレス指数が100を超えてしまうというのは、いかなるものか。国の交付税の削減等については、私も削減は非常に好ましくないと思っておりますので、本案に賛成します。



賛成討論をする
柏崎 利信 議員

◆おいらせ町一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

賛成5・反対9 〈否決〉

◆おいらせ町特別参事の給与

の臨時特例に関する条例の制定について

賛成4・反対11 〈否決〉

※町職員給与の臨時特例措置についての関連記事は、5、6頁にも掲載。

消防ポンプ自動車
購入契約の締結

下田第7分団(木崎)で使用している消防ポンプ自動車(平成元年購入)を新型車両に更新することにより、消防活動の充実強化を図るものです。

契約金額
2千412万9千円

契約の相手方
株式会社 八戸鉄工所



購入後 25年を経過する
消防ポンプ車

人権擁護委員に

小向さんを推薦

任期満了に伴い、同氏を引き続き、人権擁護委員の候補者として推薦するものです。



こむかい けんじ
小向 憲次氏（有町）

その他の審議案件

〔報告〕

- ◆平成24年度一般会計継続費繰越計算書
- ◆平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書
- ◆平成24年度一般会計事故繰越し繰越計算書
- ◆町国民健康保険税条例の一部改正専決処分
- ◆町税条例の一部改正専決処分

◆町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特

別措置に関する条例の一部改正専決処分

◆上北地方教育・福祉事務組合規約変更専決処分

〔議案〕

◆町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償額に関する条例の一部改正

◆青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更

◆青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更

〈全会一致で可決〉

ラスパイレース指数とは

国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員給与水準を示した指数。

国の財政状況と東日本大震災への対応のため、2年の期限内で国家公務員の給与を平均7.8%削減した結果、おいらせ町職員の給与水準は、95.3から103.1へと上昇し、国家公務員の給与を上回るようになった。

25年度6月補正予算の内容

消防分遣所建設に向け、土地購入費・建設負担金を4527万円計上

会 計 別	今回の補正額	補正後の合計額	歳出の主なもの	
一 般 会 計	1億2448万円	98億6418万円	一般コミュニティ助成事業費補助金 290万円 おいらせ町情報発信事業委託料 1758万円 経営所得安定対策直接支払推進 事業費補助金 286万円 野菜等産地生産・販売力強化 事業費補助金 203万円 おいらせ分遣所用地購入費 2217万円 おいらせ分遣所建設負担金 2310万円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	127万円	29億757万円	人事異動による人件費の増額
	奨学資金貸付事業特別会計	—	1814万円	
	公共下水道事業特別会計	—	10億2657万円	
	農業集落排水事業特別会計	▲62万円	1億1578万円	人事異動による人件費の増額
	介護保険特別会計	357万円	18億5204万円	高額医療合算介護サービス費 244万円
	公共用地取得事業特別会計	—	4150万円	
	後期高齢者医療特別会計	—	1億4365万円	
計	422万円	61億524万円		
(公営企業会計)病院事業会計	—	10億1501万円		
総 計	1億2870万円	169億8443万円		

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。 ▲は減額です。

請願・陳情

◆おいらせ町の平和自治体宣言を求める請願書

総務文教常任委員会において審査を行い、全会一致で採択することを可決しました。
この採択に対し、町では7月1日、次のとおり宣言しました。



審査結果を報告する
吉村総務文教常任委員長

平和自治体宣言

地球上からすべての核兵器をなくし、世界の恒久平和と安全を実現することは全人類共通の願いです。世界で初めて広島・長崎と二回にわたる原爆投下を経験した日本国民の悲願でもあります。原爆投下から60有余年が過ぎた今なお多くの被爆者が苦しんでいることから、核兵器を廃絶し、町民の命と平和なくらしを守っていくことが重要かつ緊急な責務です。



第2回定例会の様子

議員派遣

青森市で、7月に開催される青森県下町村議会議員研修会には、議会議員として必要な知識の習得と資質向上のため、全議員を派遣することにしました。

おいらせ町はかけがえのない郷土。おいらせ町、そしてすべての町民を、再びあのいまわしい戦火にさらされることのないよう、あらゆる国の核兵器の廃絶と世界の恒久平和確立を求めて、ここに「平和自治体」であることを宣言します。

24年度補正予算の内容 (25年3月専決処分)

総額で1億4710万円を減額補正

会計別		今回の補正額	補正後の合計額	歳出の主なもの
一般会計		▲1億2998万円	99億1183万円	道路橋りょう新設改良費 ▲2548万円 被災者住宅再建支援事業費補助金 ▲204万円 生活・経済活動復興支援助成金 ▲737万円 木ノ下小学校第2体育館建設工事施工監理委託料 ▲756万円
特別会計	国民健康保険特別会計	212万円	29億2169万円	保険財政共同安定化事業拠出金 ▲3513万円 国民健康保険事業基金積立金 3981万円
	奨学資金貸付事業特別会計	9万円	1624万円	奨学基金積立金 9万円
	公共下水道事業特別会計	▲1205万円	9億9358万円	下水道整備工事費 ▲799万円
	農業集落排水事業特別会計	-	1億1285万円	
	介護保険特別会計	▲786万円	19億1675万円	施設介護サービス等給付費 ▲277万円
	霊園事業特別会計	-	821万円	
	公共用地取得事業特別会計	-	4367万円	
	後期高齢者医療特別会計	58万円	1億4195万円	後期高齢者医療広域連合納付金 58万円
	計	▲1713万円	61億5492万円	
	(公営企業会計)病院事業会計	-	10億3509万円	
	総計	▲1億4710万円	171億185万円	

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。 ▲は減額です。

全員協議会

去る5月24日、全員協議会が開催され、復興交付金事業や分庁舎耐震補強改修工事、職員給与減額支給措置への取り組みなどについて協議しました。

◆職員給与減額支給措置の取り組み方針について

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の規定に基づき、国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、本年7月から来年3月までの間、国に準じた措置をとるよう、国から要請を受け、町でも給与の減額に取り組むものである。

○給料

月額平均3.1%引き下げすることを職員組合と交渉中。

○期末・勤勉手当

国の削減後の期末・勤勉手当と比較しても、当町の支給水準が低いための減額しない。

○管理職手当

国の要請どおり10%減額。

○特別職の給料

町三役（町長、副町長、教育長）の給料については、平成22年10月から独自に10%削減しているため減額しない。

おいらせ病院院長（特別参事）については、独自削減をしていないため、職員と同様に減額する。

- 工事内容
- 耐震補強工事
- 防水改修工事
- その他工事（電気・設備）

◆分庁舎耐震補強改修工事について

築38年を経過した分庁舎の耐震補強工事の概要や工事スケジュールについて、担当課から説明。

平成25年第1回臨時会 分庁舎耐震補強改修工事、開始

平成25年第1回臨時会が6月21日に開かれ、分庁舎耐震補強改修工事請負契約に関する議案について審議した結果、原案のとおり可決しました。

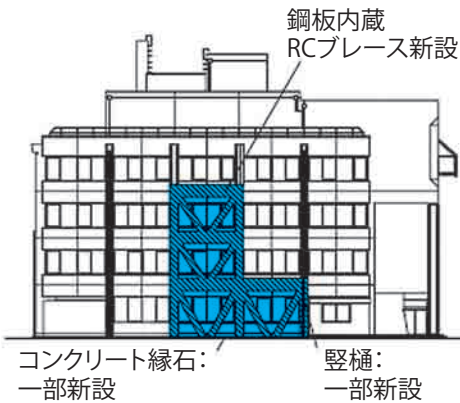
来庁する町民や職員の安全を確保するために耐震補強工事を行うものです。

工事の完成は、平成26年2月28日の予定です。

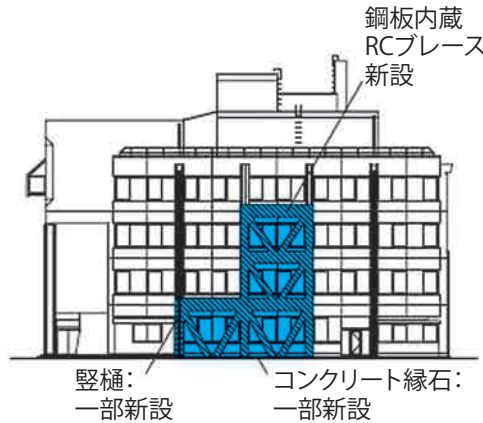
契約金額 8千904万円

契約の相手方 株式会社 三村興業社

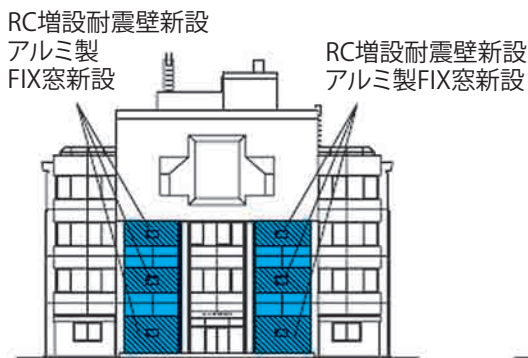
北立面図



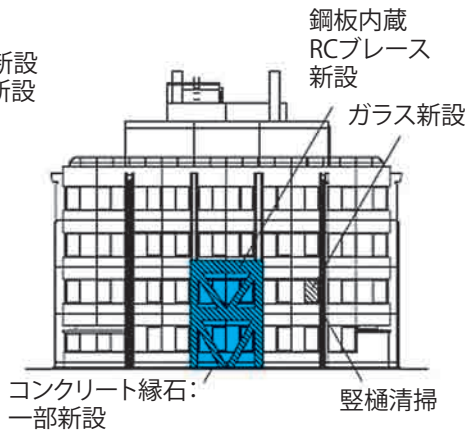
南立面図



西立面図



東立面図



※色の濃い部分で耐震補強の工事を実施します。

平成25年第2回臨時会

町の一般職、特別職、教育長、特別参事の給与の臨時特例措置に関する条例を可決

平成25年第2回臨時会が6月28日に開かれ、職員給与の臨時特例措置に関する条例の制定のため議案4件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

【議案】

◆おいらせ町特別職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

◆おいらせ町教育委員会教育長の給与の臨時特例に関する条例の制定について

◆おいらせ町特別参事の給与の臨時特例に関する条例の制定について

◆おいらせ町一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

〈全会一致で可決〉

以上の4議案は、平成25年7月から平成26年3月までの9か月間、町長・副町長・教育長は月額5%、特別参事(病院長)は月額3.9%、一般職員

給料月額比較表

区分	町長	副町長	教育長	特別参事
25年6月まで	66.4万円	53.0万円	47.7万円	62.7万円
25年7月～26年3月	63.1万円	50.4万円	45.3万円	60.3万円
増減額	▲3.3万円	▲2.6万円	▲2.4万円	▲2.4万円
減額分合計	29.9万円	23.9万円	21.5万円	22.0万円

※平成26年3月まで一般職員分も含め合計 約1,925万円の人件費を削減。

は月額平均3.1%を引き下げた、管理職手当も10%引き下げて支給するものです。



1. 視察会

☆八戸第三魚市場

○ハサップ対応型荷さばき施設の視察

○八戸LNG輸入基地の説明

去る5月20日、八戸圏域定住自立圏議員連盟による勉強会が開催され、おいらせ町議会から佐々木議長以下6名の議員が参加しました。

八戸圏域定住自立圏議員連盟 視察・講演会に参加



☆八戸水産科学館マリエント

地球深部探査船「ちきゅう」
八戸沖掘削調査研修
ちきゅう情報館 視察

2. 講演会

演題

二陸復興国立公園が

目指すもの

講師

環境省八戸自然保護官事務所

自然保護官 高橋 瑛子氏

新しい委員会の構成

このたび、二つの常任委員会と議会運営委員会が、任期満了により新しく選任されました。

各常任委員会では、議会から付託された議案や請願の審査を行うほか、所管している事項について、調査活動を実施します。(任期 平成25年6月11日～平成27年4月30日)

総務文教常任委員会

総務、企画、財政、税務、出納、監査、選挙、教育文化に関する事項並びに他の常任委員会に属しない事項を所管する。

委員長 柏崎利彦
副委員長 平野敏彦
委員 馬場正治
委員 西舘秀雄
委員 立花國雄
委員 澤頭好孝
委員 沼端隆雄
委員 高坂雄

産業民生常任委員会

農林、水産、畜産、商工観光、土木、建築、都市計画、上下水道、民生、保健、福祉、環境、病院事業に関する事項を所管する。

委員長 吉村敏文
副委員長 榎山忠
委員 佐々木光雄
委員 松林義光
委員 袴田信男
委員 川口弘治
委員 日野口和一子
委員 田中正一

議会運営委員会

委員長 松林義光
副委員長 沼端義務
委員 立花國雄
委員 澤頭好孝
委員 吉村敏彦
委員 平野敏彦

一部事務組合派遣議員の報告

6月11日(火)、定例会終了後、一部事務組合派遣議員による報告会がありました。

●十和田地区環境整備事務組合議会
議員 日野口 和子



報告する日野口議員

(報告内容)
◆平成25年度当初予算概要
◆組合の懸案事項について

●十和田地域広域事務組合議会
議員 榎山 忠
議員 高坂隆雄



報告する高坂議員

(報告内容)

◆平成23年度決算の概要
◆ゴミの状況
◆火葬事務等について

●上北地方教育・福祉事務組合議会
議員 平野 敏彦



報告する平野議員

(報告内容)
◆平成25年度当初予算概要
◆組合の懸案事項について

●八戸地域広域市町村圏事務組合議会
議員 袴田 信男



報告する袴田議員

(報告内容)
◆平成25年度当初予算概要
◆おいらせ町の負担金について

水道企業団から議員に対して事業内容を説明

6月21日(金)、第1回臨時会終了後、八戸圏域水道企業団職員による平成25年度事業の概要の説明会がありました。

説明会では、水道企業団の現況や財政計画、平成24年度決算見込の状況や平成25年度予算のあらまし、業務状況の推移、おいらせ町内での主要な工事内容などについて企業団の担当職員から説明を受けました。

平成25年度の主要な工事
・ 向山配水塔1号池内壁防水塗装工事
・ 木内々ポンプ場直流電源盤バッテリー取替工事
・ 配水管布設工事 150m
・ 配水管布設替工事 715m

一般質問



橋山 忠 議員

木崎地区の町道を安全に

質問 木崎地区の町道は、道幅が狭く、車のすれ違い、登下校児童の歩行、地区住民の生活に通勤に、また津波対策の避難に支障をきたしているが、バイパス道路を新設する考えはないか。

町長答弁 本路線の拡幅整備事業費を平成18年度に試算したところ約27億円となり、利便性の向上が図られるが、厳しい財政事情では事業化は非常に厳しいことを理解してほしい。

質問 間木地区で実施済みの部分拡幅を行い、歩道を確保

する考えはないか。

町長答弁 間木地区をモデルケースとして、町内会のご支援や地権者のご協力を得て事業が可能であれば、検討したいと考えています。

質問 木崎地区中央部に位置する木崎中央線と木崎一号线を結ぶ砂利道があるが未舗装であり、降雨時または降雪時には歩行困難な状態にある。町内会の要望に応え舗装し、本町道の危険を緩和する考えはありませんか。

町長答弁 道路整備の必要性は理解しているが、「生活関連道路整備計画」に記載し、順次年次計画の中で整備したいと考えています。

百石漁港は水産業の宝です

質問 町長は、平成25年度の所信表明で水産業について触れていないが、今後をどのように考えていますか。

町長答弁 本年度で、被災した漁業者への漁船や漁具の復旧にめどがつかず。今後は漁業生産活動の向上が図られるよう、経営基盤の確立に努

めて参ります。

質問 百石漁港の当初計画漁獲高、開港初年度の漁獲高、震災後と昨年度の漁獲高は。

町長答弁 当初計画（平成14年度から18年度までの5カ年の平均値）750トン、供用開始初年度696トン、23年度644トン、24年度736トンです。



十数年来の夢がかなった町の宝「百石漁港」

質問 震災後の漁船・漁具の復旧・復興状況と、漁港施設整備の復旧・復興状況は。

町長答弁 24年度までに12トンの新造定置網船1隻、5トン未満の新造船5隻、中古船12隻、定置網1ヶ統を完了。本年度は5トン未満の新造船1隻、定置網2ヶ統を予定し、終了する見込みです。漁港整備は昨年度で完了しました。

質問 漁港施設について漁業組合から要望がありましたか。

町長答弁 23年度に組合の要望で漁具倉庫の施設整備と附带工事を実施しましたが、それ以降は伺っていません。

質問 地産地消を主として付加価値の高いものを消費者に提供したい。そのための設備としてコンパクトな荷さばき場、製氷装置、冷蔵装置と魚介類を加工し、お客様に提供できる施設を希望しているようですが、ところで、漁港開港までの町の投資額と、有償か無償かと、何処から償還されるのか知りたい。

農林水産課長 これまでの総事業費は43億5千万円、町負担は4億3千5百万円です。

副町長 漁港本来のあり方を問う陳情があるときは、それに応えたい。漁協として一本化した意思が今のところはない。

質問 震災後の漁港の機能変化と、出入港の支障と、支障あるなら対策はできていますか。

町長答弁 漂砂堆積により支障が出ている。今、県漁港事務所に対応をお願いしています。

質問 今現在の管理と開港当初の航路、泊地及び明神川の

水深は何mでしたか。

農林水産課長 今は、県が管理しています。航路の水深3m、泊地の水深3mから2m、明神川の水深は不明です。

質問 新港開港後、何回しゅうせつ工事が行われ、その金額はいくらか、一回の平均金額は。

農林水産課長 22年から震災まで計3回で1回当たりの平均金額は、約2千150万円になっています。

質問 改善の余地がまだまだあるのではないですか。

副町長 県と連絡を密にして港の事情を理解してもらいます。

質問 改善されてしゅんせつ工事が5年ないし10年に1回になるまで移管を受けるべきでないと思うが。

町長答弁 県と協議をし漂砂がなくなるまでは、完成と認めたくないと考えています。

質問 震災後の港内明神川の堆積物の変化と対策は。

町長答弁 明神川から流れ込む砂の堆積物も漁港に影響を与えている要因として、県漁港事務所と県河川管理課と対策の方法を協議していきま

一般質問



平野 敏彦 議員

町総合計画後期基本計画策定について

質問 前期計画施策の24年度末現在の達成状況は。

町長 全体的に達成状況としては、約6割から7割程度、達成していると判断しております。

企画財政課長 残りの34%を達成するためには、今年度のみの達成ではなくて、向こう5年間と見た場合での達成と、いつかうに見ていただきたい。

質問 5年間の目標を掲げて、町民に示しているわけで、34%については繰り越しになる可能性があるのか。

企画財政課長 もちろん後期

に繰り越しになることも想定されます。

質問 町の総合計画は町民に約束事として示されているわけですが、担当課長がかわれば、その時の思いというのが引き継がれていない。議会に提示したものについては、中間報告、結果報告を出すべきでは。

町長 毎年定年退職者や、新しい課長の選任により事務手続上引き継ぎがうまくいっていない、実施計画、基本構想等が担当者が変わることによって、考え方も変わっている部分もあるのかと感じております。ご指摘のように、まんべんなく引き継ぐよう指示したい。

質問 町自治基本条例の制定した効果は。条例は、町の憲法とも呼ばれ、50年100年の将来を見据えたまちづくりの理念を示したものである。

町長 平成21年4月に施行し、5年目となります。それぞれのまちづくり組織を立ち上げ活動しております。委員の公募や行政情報の提供、町民の参画、参加を促進するなど効

果はあると考えております。

質問 条例の項目の中で、町民の役割と責任・議会の役割と責任・行政の役割と責任についてどのように果たされているのか。

企画財政課長 現時点においては、具体的にそれがどうこうという個別の事例については、確認をしていないところであります。

質問 検証結果について広報に載っています。甚だ簡単すぎる。3年間同じ様式でこのような評価でよいのか。

企画財政課長 この3年間にについては行政のみの検証をしてきたというふうに思っております。これからは、個別の条例条項に合わせた形でやっていくのも一つの方法かと考えております。

質問 後期基本計画の重点施策は。

町長 現時点での重点施策については、確定しておりません。今後作業を進める中で関係部署に指示して、調整させたいと考えております。

町復興交付金事業について

質問 一次避難所が10カ所となっている。場所と規模は。

町長 一次避難所は、大津波警報が発令された場合、一時的に避難する集合場所、広場や広めの道路沿いを予定しております。

質問 町復興交付金事業計画予定となっている深沢、一川目、二川目地区への避難目標地点の整備内容は。

町長 深沢、一川目、二川目地区の整備内容について、一次避難所の整備や看板の整備と合わせ、地域の皆様の意見を聞きながら必要な整備を検討してまいります。

質問 避難場所への誘導の方法は平日・休日・夜間・冬期間の対応の方法は。

まちづくり防災課長 警報が発令された場合、自主的に避難できる方は、高台へ向かっていただき、要援護者などは、近所の方や、自主防災組織の力を借りて誘導していただく

よう考えております。

質問 車の乗り入れについて、高齢者や寝たきりの方や徒歩困難な住民の対応について。

町長 車での避難は渋滞を引き起こし、あるいは避難の妨げになることから原則徒歩としております。しかし、災害時要援護者等ややむを得ない場合は車での避難も可能としております。

質問 松原地区4路線の避難階段等の幅員が1.5mとなっているがなぜか。

町長 避難は原則徒歩としていることから2人が並んで避難できる最少幅員としたものであります。

質問 緊急時しかも短時間移動、夜間だったら、最低でも軽自動車やワゴン車が移動できる幅員3m以上を確保すべきでは。

町長 階段スロープ等の構造に関することは、今後設計において、適切な工法を選定していくことになると思います。町、設計業者、町内会の方々との相談になると思います。

議会運営委員会調査活動報告

（栃木県 壬生町）
みづまち

平成25年4月25日から26日まで、議会運営委員6名が栃木県壬生町議会を調査視察しました。

壬生町は、栃木県の中南部に位置し、東京からは北に90kmの距離にあり、宇都宮市・鹿沼市・栃木市・下野市に隣接した人口約4万人の町です。

平安時代には、のちの天台宗座主となる慈覚大師（当町の根岸の大きいちょうとも縁があります。）が誕生し、江戸時代には、日光街道の宿場町として栄え、戦後は、獨協医科大学の開校、おもちゃ博物館の開館など、栃木県内でも有数の人口を擁する町として発展しています。

壬生町議会では、積極的に議会改革を行っており、昭和61年には議員定数を30名から26名に、平成10年には22名、平成18年には16名に削減しています。

今回、議会運営委員会では、「議会の活性化への取り組みについて」をテーマとし、壬生町議会議員政治倫理条例の概要や会派の結成状況や会派の役割、その他議会運営の方法などについて調査してきました。

「政治倫理条例について」

壬生町では、議員としての役割を認識し、誠実かつ公正に職務を遂行するように、政治倫理条例を定めています。

当委員会では、議員が政治倫理基準に違反するおそれがあるときに町民または議員からの審査請求の方法を定めた第4条（審査の請求）や違反すると認められる議員に対する処置を定めた第8条（倫理基準違反の処置）について調査しました。

「会派の結成状況と会派の役割」

会派の結成は、平成15年3月から始まり、22名中21名が8会派に所属しました。平成18年4月には、16名中14名が2会派に所属、平成22年4月からは1会派に減少しましたが、9名が所属しています。

会派結成のメリットは、政治集団として調査・研究・議論を行うことによる個々の議員の資質向上と、政策集団として、町長への要望・交渉が行いやすく、町の政策に反映させることができるということを伺いました。その他、先輩議員からのアドバイスや世代間の情報交換が行いやすいというメリットもあるとのこと

でした。

「その他」

また、議会会議録のインターネットでの公開や女性議会・議場コンサートの実施、議会に関するアンケートの実施を通じ、町民に議会への興味をもってもらうほか、議員が兼務する各種委員会等の報酬等の廃止など今回の視察で大いに参考となりました。

当町議会においても、議員政治倫理条例の制定や議会基本条例の制定など内容を十分に研究し、議会改革を前向きに進めていきたいと思

議会運営委員会

委員長 松林 義光 記



壬生町役場を訪問する一行

編集後記

今定例会は一般質問が二議員のみと、おいらせ町議会としては最少人数となりました。昨年の九月定例会から導入した「二問一答方式」（制限時間六十分）、「一括質問一括答弁方式」（同）選択制では、過去一年間すべての質問者が前者を選択しています。

今回は一般の傍聴者のほか、七戸町議会から九名の視察団を迎えての一般質問でしたが、県内の市町村議会では今後、同様の選択制導入が増えていくものと思われます。

「二問一答方式」の良い点は、質問回数に制限がないため焦点を絞りやすく、傍聴者にもわかりやすいところです。

最近の白熱したやりとりは迫力を感じさせますので、ぜひ傍聴いただきたいと思



議会広報編集委員
馬場 正治 記

第3回定例会のお知らせ

平成25年9月5日（木）から開会予定
会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

●問合せ 議会事務局（本庁舎3階）

電話 0178（56）2112